

2021年度 傾斜的研究費（全学分）
社会連携支援（都連携研究支援・社会連携活動支援） 研究報告書

【研究費区分】：社会連携活動支援

【研究代表者所属】：人文科学研究科

【研究代表者氏名】：山下 祐介

【研究代表者氏名フリガナ】：ヤマシタ ユウスケ

【研究代表者職】：教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

【研究課題名】：白神山地の環境・歴史資源の広域的利活用へ

【研究実績の概要】

・本研究では、世界自然遺産・白神山地の環境・歴史コンテンツの形成と、その利活用促進のあり方について、白神山地周辺自治体の各担当者との協議・連携を通じて検討を行った。具体的な目標として、2023年末の世界遺産登録30年を目指し、東京における白神塾、現地学習ツアー、白神検定教科書の刊行、白神検定を掲げ、その実施を目指した。本研究ではそのための1年間の準備作業を行った（コロナ禍のため研究会・打ち合わせはオンラインで実施）。

【研究成果の都民への還元あるいは東京都への政策提言】

・本研究成果の一部を用いて、オープンユニバーシティによるオンライン公開講座「『津軽学』『白神学』世界遺産 白神山地の探究」（2021年12月11日）を実施し、青森・秋田・東京をつなぐ魅力発信・受け止めの状況を探った。2022年度実施も企画。

【東京都以外への社会への提言や活動の実績】

・また青森・秋田両県の関係自治体で構成する環白神エコツーリズム推進協議会に対し、上記プログラムの実施案を提示。その具体化に向けた共同作業に2022年度に入ることを確認。今後、ここで提案した東京における事業の実施により、「遠い白神」から身近な白神への意識転換を図るとともに、東京他首都圏からの遺産地域の学習支援を進める方策をさらに具体的に検討していく。

【競争的資金への応募状況】

・白神山地に関わる官学の社会連携を進めるための研究資金について公益財団法人 伊徳地域振興財団 財団研究助成金に応募。また基礎研究資金について文部科学省科学研究費補助金に応募。

【科学研究費助成事業や国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・科学研究費補助金基盤研究(C)「世界自然遺産登録の社会的影響と地域の持続可能性に関する研究：白神山地を中心に」

・伊徳地域振興財団 財団研究助成金「白神山地に関する文化的基礎的資料の作成～白神山地周辺地域の歴史・文化・自然に関する知の体系化への取り組み～」